

韓国観光公社と訪韓拡大のための業務提携協約を締結 3年間で訪韓日本人送客数170万人を目指す

株式会社エイチ・アイ・エス（本社：東京都新宿区 以下、HIS）と韓国観光公社（本社：大韓民国江原道原州市 社長：朴成赫）は、日本人観光客の訪韓拡大のための業務提携協約を本日締結いたしました。



左から、韓国観光公社 社長 朴成赫氏、HIS 取締役 HIS JAPAN プレジデント 山野遼淳

2025年に訪韓した外国人観光客数は過去最多の1893万人で、日本からは前年比113%となる365万人を記録しました。日本人の海外旅行者が最も多い国である韓国は、首都ソウルをはじめ、釜山、清州、済州、大邱などから日本国内のさまざまな都市へ就航しており、訪韓しやすい環境にあります。

HISは、このたび、若年層の個人旅行をコアターゲットとし、ソウルおよび地方都市の魅力を発信し、地域素材やテーマ別観光コンテンツを活用した観光商品をより充実すべく、韓国観光公社と3年間の「訪韓拡大のための業務提携協約」を締結しました。契約期間である3年間で、HISからの訪韓日本人送客数170万人を目指します。

業務提携協約の概要

- 日韓直行路線の就航都市を中心に、地域素材及びテーマ別観光コンテンツ、日本対象の特別イベントなどを活用した韓国観光商品をより充実させ、日本人観光客の訪韓拡大のために努力する。
- 韓国観光公社の重点地域である釜山東南圏や清州中部圏などへの地方訪問促進のためのプロモーションを強化する。
- 韓国旅行リピーターの複数回訪韓促進のために人気のテーマ素材を活用した商品を企画造成し、送客を強化する。
- 日韓航空チャーター便などを活用した、日本人送客への取り組みを強化する。
- 日本人新規顧客の創出のため、他産業との連携、企業などとの3者共同協業の推進を図る。

2028年の訪韓外国人観光客3,000万人達成に向かって、HISが長年にわたり積み重ねてきたノウハウを活用させていただき、韓国旅行未経験やソウルしか訪問したことのない日本の皆様に、韓国各地の多様な地域へ継続的にお越しいただけるよう、地域間の相互交流促進に積極的に協力してまいります。



韓国観光公社
社長 朴成赫

韓国観光公社様との協約は、2023年に締結させて頂いた以来、さらに、初の複数年での契約となります。地方送客拡大の一環として、地方空港からのチャーター便の実施、M&Aや投資によるオリジナルコンテンツの開発など、HISの強みを生かして韓国観光公社様とのグローバルパートナーシップを築いてまいります。



株式会社エイチ・アイ・エス
取締役 HIS JAPAN プレジデント
山野遼淳